

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																																
ホスピタリティ・ツーリズム 専門学校	昭和55年3月10日	内藤 幸一	〒 164-8550 (住所) 東京都中野区東中野3-18-11 (電話) 03-3360-4621																																
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																																
学校法人 トラベルジャーナル学園	昭和55年3月10日	森谷 博	〒 164-8550 (住所) 東京都中野区東中野3-18-11 (電話) 03-3360-4621																																
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																														
商業実務	商業実務専門課程	テーマパーク科	平成6年度	-	令和4年度																														
学科の目的	国際感覚に富む有能な人材を育成し、テーマパークおよびレジャー業界に必要な知識・技能の習得とともに豊かな教養を備えた気力ある社会人を養成し、テーマパークおよびレジャー産業の発展に寄与することを目的とする。																																		
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	テーマパークスタッフの基礎として必要となるコミュニケーション力、表現力、技術力を身につけるため、ケーススタディやロールプレイ、ディスカッションを繰り返し、現場で即戦力となるために学んでいる。また、業界を多角的に学ぶため、産学連携して遊園地施設のマーケティング、イベント企画、運営を行っている。(資格:サービス介助士、全国手話検定、サービス接客検定など接客に特化した資格取得に力を入れている)																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2年	昼	※単位時間、単位いずれかに記入 1,680 単位時間 単位	450 単位時間 単位	690 単位時間 単位	120 単位時間 単位	単位時間 単位	420 単位時間 単位																												
生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)																																
120人	95人	0人	0%																																
就職等の状況	■卒業生数(C) : 46人 ■就職希望者数(D) : 42人 ■就職者数(E) : 42人 ■地元就職者数(F) : 0人 ■就職率(E/D) : 100% ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 0% ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 91% ■進学者数 : 0人 ■その他 アルバイト継続4人 (令和5年度卒業者に関する令和5年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 合同会社ユニー・エス・ジェイ、(株)サンリオエンターテインメント、(株)オリエンタルランド、(株)富士急ハイランド、キッザニア東京、(株)CA セガジョイボリス株式会社東京ジョイボリス等																																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載		無																																
当該学科のホームページURL	<a href="https://traial.jp/themepark/">https://traial.jp/themepark/</a>																																		
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>総授業時数</td><td>1,680 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>120 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>60 単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>1,680 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>120 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>60 単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>120 単位時間</td></tr> </table> (B: 単位数による算定) <table border="1" style="width: 100%;"> <tr><td>総授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>単位</td></tr> </table>							総授業時数	1,680 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	120 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	60 単位時間	うち必修授業時数	1,680 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	120 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	60 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	120 単位時間	総授業時数	単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	単位	うち必修授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位
総授業時数	1,680 単位時間																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	120 単位時間																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	60 単位時間																																		
うち必修授業時数	1,680 単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	120 単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	60 単位時間																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	120 単位時間																																		
総授業時数	単位																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	単位																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	単位																																		
うち必修授業時数	単位																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	単位																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	単位																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	単位																																		
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等に於いてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>4人</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td> <td>3人</td> </tr> </table>							① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等に於いてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	3人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人	計	4人	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	3人														
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等に於いてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを合算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	3人																																		
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	1人																																		
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人																																		
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人																																		
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人																																		
計	4人																																		
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	3人																																		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本学の教育課程を客観的に検証し、意見や指摘を受け、それらを教育課程に反映し、即戦力となり得る実務知識や技術技能の教授を行い、業界の発展に必要な人材の育成に寄与する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

学校長直轄の委員会であり、本学教務部にて編成された教育課程に対し、業界や企業の知見をもってアドバイスや指摘、修正、追認を行う。委員会による決議は部署長会議による検討を経たのち、各学科会議にてより具体化しカリキュラムに反映する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和5年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
佐々木 修司	西鉄旅行株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
佐々木 啓安	ビッグホリデー株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
増田 武	株式会社エアトリ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
佐々木 圭	株式会社パレスホテル	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
村元 敬洋	日本ホテル株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
松村 晋祐	株式会社パークタワーホテル パーク ハイアット 東京	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
関 理恵	ANAエアポートサービス株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
高柳 美樹	株式会社JALスカイ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
原 康隆	スカイマーク株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
藤原 健太郎	株式会社JALグランドサービス	令和5年8月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
西田 淳一	一般財団法人みんなの外国語検定協会	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	①
田中 啓子	株式会社やる気スイッチキャリア	令和5年8月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
松本 隆司	一般社団法人日本外航空船協会	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	①
青木 康司	株式会社よみうりランド	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
松島 健太郎	株式会社東京ドーム	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
大澤 東光	CAセガジョイポリス株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
吉田 綾子	株式会社ツカダ・グローバルホールディング	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
酒井 雅弘	株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
剣持 英樹	株式会社BP	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
岩井 雄紀	株式会社ノバレーゼ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
遠藤 陽平	東武鉄道株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③
宮崎 滋	一般財団法人横浜市交通局協会の	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	③

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「-」を記載してください。)

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(2月、7月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年2月27、3月6日 1部15:00～16:15 2部16:45～17:30

第2回 令和5年7月3日、10日 1部15:00～15:30 2部15:50～17:20

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

業界が求めるリーダー像として、チーム力を上げる、同じ方向を向くように底上げする力が必要との意見を頂戴し、学生が主体的に課題に取り組むことを目的とした「オーナーシップトレーニング」授業を導入。また、機械化が進むからこそコミュニケーション力のある人材が必要になるとの意見から、各授業内でディスカッションを増やし、意見を伝える力、聞く力の向上に取り組んでいる。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業との連携により、テーマパーク及びレジャー産業に携わることで、学生の就業意欲を高めると同時に、就業時に即戦力として働ける能力を育成する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

卒業生の就職企業を中心に、企業と協定を締結し、校外で実施される実習・演習など連携体制をとっている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
企業実習	テーマパーク、遊園地企業にて、実際に学内で学んだ知識とスキルを実践し、自身の習熟度を確かめると共に、将来のキャリア意識と職業観を身に着ける。	CAセガジョイボリス株式会社、株式会社サンリオエンターテイメント、KCJ GROUP株式会社、株式会社東京ドーム、株式会社モビリティランド、株式会社よみうりランド、株式会社西武園ゆうえんち、KCAオペレーションズ株式会社、株式会社エス・デー、株式会社ACM、東武レジャー企画株式会社

### 3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

#### (1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

教職員の組織体制については、教員の専門性や実務経験、取得資格等についても教育上有効に機能させるため適切な配置を考え学科毎に教員の所属を区分し、教育カリキュラムの運営や学生指導にあたっている。職業実践的な教育に対し、質の向上をはかるためには、一人一人の教員の専門性向上および教育に対する意識の向上が必要であり、企業等の外部と連携を図り、積極的に研修の機会を設けることが重要と考えている。研修については「研修等に関する諸規定」を定め、教職員の能力開発、資質向上のための研修に取り組んで行く。

#### (2) 研修等の実績

##### ① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	魅力付け研修	連携企業等:	株式会社マックスマネジメント
期間:	令和4年8月4日(木)、5日(金)	対象:	全教職員
内容	学科魅力付けのための新しい教育のあり方について検討および発表を行う		
研修名:	イノベーション研修	連携企業等:	株式会社マックスマネジメント
期間:	令和4年4月22日(金)、6月22日(水)、 9月16日(金)、11月25日(金) ※合計4回実施	対象:	テーマパーク科専任講師
内容	イノベーションの基本理解および実践的なスキルを習得する。また自己の課題を明確にし、今後の事業革新・改善につなげる。		
研修名:	人権教育研修～アンガーマネジメント～	連携企業等:	東京都私学財団
期間:	令和4年11月9日(水)	対象:	テーマパーク科専任講師
内容	怒りの感情とストレスについて理解を深め、適切なしかり方や言葉のかけ方を身に着ける。		
② 指導力の修得・向上のための研修等			
研修名:	カウンセリング研修	連携企業等:	APC朝日パーソナリティセンター付属心理教育学院
期間:	令和4年 7月6日(水)、13日(水)、20日(水)、27日(水)、 8月3日(水)、10日(水)、17日(水)、31日(水)、 10月5日(水)、12日(水)、19日(水)、26日(水)、 11月2日(水)、9日(水)、16日(水)、30日(水)、 12月7日(水)、14日(水) ※合計18回実施	対象:	テーマパーク科専任講師
内容	学生対応・相談や個別面談等での対応力向上のプログラム		
研修名:	人権教育研修～発達障害に対する理解と援助～	連携企業等:	東京都私学財団
期間:	令和4年11月30日(水)	対象:	テーマパーク科専任講師
内容	発達障害についての正しい知識、ADHDなどの発達障害の特徴と学校における具体的な配慮と支援の在り方。		
研修名:	アサーティブコミュニケーション	連携企業等:	東京都私学財団
期間:	令和4年8月2日(火)	対象:	テーマパーク科専任講師
内容	相手の気持ちや立場に配慮しつつ、言いづらいことを伝えなければならない場面における必要な能力について。		
研修名:	GIGAスクール構想 ICT利活用の高度化	連携企業等:	東京都私学財団
期間:	令和4年7月19日(火)	対象:	テーマパーク科専任講師
内容	ICTを活用した授業構想や教育の在り方。		

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名:	魅力付け研修	連携企業等:	株式会社マックスマネジメント
期間:	令和5年8月8日(火)、9日(水)	対象:	全教職員
内容	学科魅力付けのための新しい教育のあり方について検討および発表を行う		
研修名:	イノベーション研修	連携企業等:	株式会社マックスマネジメント
期間:	令和5年4月21日(金)、6月23日(金)、 9月14日(木)、12月15日(金) ※合計4回実施	対象:	テーマパーク科専任講師
内容	イノベーションの基本理解および実践的なスキルを習得する。また自己の課題を明確にし、今後の事業革新・改善につなげる。		

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名:	カウンセリング研修	連携企業等:	APC朝日パーソナリティセンター付属心理教育学院
期間:	令和5年 10月4日(水)、11日(水)、18日(水)、25日(水)、 11月1日(水)、15日(水)、22日(水)、29日(水)、 12月6日(水)、13日(水)、 1月10日(水)、17日(水)、24日(水)、 2月14日(水)、21日(水)、28日(水)、3月6日(水)、13日(水) ※合計18回実施予定	対象:	テーマパーク科専任講師
内容	学生対応・相談や個別面談等での対応力向上のプログラム		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

本学の教育行為を客観的に検証評価し、改善点を見出し、教育機関として特色のある学校づくりに取り組み、有為の人材を業界に送り出し、業界の発展に貢献する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念 目標
(2) 学校運営	学校運営
(3) 教育活動	教育活動
(4) 学修成果	学修成果
(5) 学生支援	学生支援
(6) 教育環境	教育環境
(7) 学生の受け入れ募集	学生の受け入れ募集
(8) 財務	財務
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	国際交流

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

○学修成果

卒業生の社会的な活躍及び評価の把握と卒業後のキャリア形成への把握に関しアドバイスを受けた。そのため、卒業生に関しては、同窓会の活用、および学科に特化した意見などの把握のために、定期的に卒業生からの意見交換の場を設け改善を図ることとした。

○学生支援

本学には学生の体調管理など保健に関する専門的知識を有する職員はいないが、精神的なケアに対してはカウンセラー研修を全教職員対象に受講、資格取得を義務付け、その対応とした。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和5年8月1日現在

名 前	所 属	任 期	種 別
佐々木 修司	西鉄旅行株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
佐々木 啓安	ビッグホリデー株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
増田 武	株式会社エアトリ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
佐々木 圭	株式会社パレスホテル	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
村元 敬洋	日本ホテル株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
松村 晋祐	株式会社パークタワーホテル パーク ハイアット 東京	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
関 理恵	ANAエアポートサービス株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
高柳 美樹	株式会社JALスカイ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
原 康隆	スカイマーク株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
藤原 健太郎	株式会社JALグランドサービス	令和5年8月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
西田 淳一	一般財団法人みんなの外国語検定協会	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
田中 啓子	株式会社やる気スイッチキャリア	令和5年8月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
松本 隆司	一般社団法人日本外航客船協会	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
青木 康司	株式会社よみうりランド	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
松島 健太郎	株式会社東京ドーム	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
大澤 東光	CAセガジョイポリス株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
吉田 綾子	株式会社ツカダ・グローバルホールディング	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員

酒井 雅弘	株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
剣持 英樹	株式会社BP	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
岩井 雄紀	株式会社ノバレーゼ	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
遠藤 陽平	東武鉄道株式会社	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員
宮崎 滋	一般財団法人横浜市交通局協会	令和5年2月1日～ 令和6年1月31日(1年)	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ

URL: <https://traial.jp/>

公表時期: 令和6年1月12日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

ホームページでの情報提供を主とし、企業と連携した様々な教育活動への協力依頼ならびに求人依頼の企業訪問時に適宜説明する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標及び計画
(2)各学科等の教育	各学科等の教育
(3)教職員	教職員
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育・実践的職業教育
(5)様々な教育活動・教育環境	様々な教育活動・教育環境
(6)学生の生活支援	学生の生活支援
(7)学生納付金・修学支援	学生納付金・修学支援
(8)学校の財務	学校の財務
(9)学校評価	学校評価
(10)国際連携の状況	国際連携の状況
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

ホームページ

URL: <https://traial.jp/>

公表時期: 令和6年1月12日

授業科目等の概要

商業実務専門課程テーマパーク科																
1	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ホスピタリティ・SDGs研究	ホスピタリティマインド、SDGsという2つのテーマに沿ってホスピタリティの具現化について考察を深めます	1前	30	2	○			○		○		
2	○			業界英会話	各業界で使用する英単語・英語フレーズを学びます	1通	60	4	△	○		○				○
3	○			キャリアガイダンス	自身のキャリアプランを考えるとともに、就職活動に対応できる能力を養います	1通	60	4	○	△		○		○		
4	○			ビジネスプレゼンテーション(BTS)	社会人として必要なプレゼンテーション能力の基礎を学びます。	1通	60	4	△	○		○		○		
5	○			ゲストオペレーション(基礎)	テーマパークで働くスタッフとしての基礎知識、ゲストアプローチの方法を学ぶ。スピールやナレーション練習を通し、テーマパークで活用できる表現力の向上を目指す。	1通	60	4	△	○		○		○		
6	○			ゲストオペレーション(応用)	あらゆる場面を想定し、対応や考え方の幅を広く持てるようにする。お客様によって何が求められているのかをすぐに見極め、対応力の向上を目指す。	2通	60	4	△	○		○		○		
7	○			TDR/USJ研究	2大テーマパークを中心にテーマパークの定義や歴史・テーマパークスタッフの役割を学び、業界人としての基礎知識を身につける。ポートフォリオを使用し働くスタッフを研究・調査し、課題解決型授業を実施する。	1通	60	4	△	○		○		○		
8	○			テーマパークレジャー産業知識	テーマパーク・レジャー企業を細分化しグループ企業や集客・マーケティング・SDGs、企業ごとの「売り」を分析し魅力を学ぶ。	1後2後	60	4	○	△		○		○		
9	○			ゲスト安全対応力	サービスの現場で重要視される「安全」について学び、それを守る為の知識を身に付ける。	1前2前	60	4	△	○		○		○		



10	○		オーナーシップトレーニング	テーマパーク業界で必要とされている主体性を養う。1、2年生合同授業。与えられる課題に対して当事者意識を高く持ちながらどんな環境でもオーナーシップを発揮できる人材を目指す。 1年次：目上の人と行動するうえでも主体性を持ち、従うだけでなく自発的に行動する姿勢を身に付ける。 2年次：キャリアアップ後の後輩指導、チームマネジメントの場面を想定し、チーム運営を円滑に進めるための自発的行動ができるようになる。	1通 2通	120	8	△	○		○		○						
11	○		ワークアウト&ダンス	さまざまなジャンルのダンスを通して基礎体力やチームワークを養い、ショーサポートスタッフに必要なダンススキルを習得。筋力トレーニングを通して正しい姿勢や歩き方も身につける。	1通 2通	120	8				○	○		○	○				
12	○		パフォーマンストレーニング	サービス業に従事する者にとって、必要不可欠なエンターテインメント精神を様々な角度から研究・分析し、幅広い表現や自由な発想・想像力を養う。	1通	60	4				○	○						○	
13	○		表現トレーニング(基礎)	舞台でのセリフや演技を通じて、人前に立つということに抵抗を無くし、お客様の前でも施設の世界観を演じることが出来るようになる。	1通	60	4				○	○						○	
14	○		表現トレーニング(応用)	演劇メソッド使ったワークや自己の表現力・発想力・周囲のチームワーク力を高め演技を通じて目標達成することで表現力を向上させる。	2通	60	4				○	○						○	
15	○		サービス接遇	サービス接遇検定2級(筆記)と準1級(ロールプレイ)の試験対策を行う。前半は2級の筆記試験対策を、後半は準1級面接試験対策を行う。	1前	30	2	○	△		○			○				○	
16	○		テーマパーク手話	テーマパークでろう者と積極的に会話をしようとする姿勢をもち、日常会話ができるレベルの手話を取得する。	1後 2通	90	6				○	○						○	
17	○		キャラクタートレーニング	グリーティングのシュミレーションを通して、アテンドとキャラクター 両者にとって大切なホスピタリティを身につけ、自発的に行動、表現していく力を養う。	1後	30	2				○	○						○	
18	○		業界英会話(応用)	外国人ゲストに対して日本人ゲストの対応と同じようにサービスをするため、知っておきたい接客英語を学ぶ。	2通	60	4	△	○		○								○
19	○		業界中国語	発音、会話を中心とした実用的な中国語の習得、テーマパークで使うフレーズを学ぶ。また、語学を通じて中国の実情や中国人への対応等について理解を深める。	2通	60	4	△	○		○								○
20	○		異文化理解	各国の習慣や宗教上のマナー、タブーを理解し、グローバルに活躍するための知識を養う、外客接遇の上で大切なプロトコルを理解する。	2後	30	2	○	△		○								○
21	○		ライフプランニング	卒業後の人生設計をイメージし、必要なお金や備えを知ること、計画的なライフプランを作成する事が出来るようになる。	2後	30	2	○	△		○								○
22	○		イベントプロモーション	イベントを行うための企画立案、当日の実施に至るまで一連の流れをチームで行い集客の重要性を学ぶ。	2通	60	4				○			○					○

23	○		キッズ/シニアアプローチ	テーマパーク・レジャーランドにおける子供や年配の方へのアプローチ方法を学び、幅広いゲスト対応のスキルを身に付ける。	2通	60	4	○	△		○	○		
24	○		メンタルヘルスマネジメント	ストレスやその原因となる問題への対処方法を学び、心の不調の未然防止と心の健康管理の大切さを理解する。	2後	30	2	○	△		○	○		
25	○		テーマパーク観光地理	テーマパーク・遊園地における周辺観光知識「観る・食べる・体験する」を学び、ゲストの多様な質問に答えられる知識を学ぶ。	2後	30	2	○	△		○	○		
26	○		ビジネスマナー	1年次：企業実習に向けて基本的な就業規則や常識を理解し、テーマパークスタッフとして勤務する準備を行う。 2年次：社会人として必要なビジネスマナー、一般常識を身に着ける。	1前 2後	60	4	○	△		○	○		
27	○		文章カトレーニング	正しい言葉遣いでお客様対応をするため、日本語レベルを向上させる。自身の考えをうまく伝えられるよう語彙力を高め、文章の構成力も養う。	1後 2前	60	4	○	△		○	○		
28	○		企業実習	1年次夏季実習(7~9月)、後期実習授業(10~3月) 計120時間の現場実習を行う。	1後	120	4				○	○	○	○
合計					28	科目	1680 単位 (単位時間)							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	①出席した授業時間数が2年次の総授業時間数の80%以上 ②修得した単位数が2年次の総単位数の80%以上 ③所定の学費を指定期日までに完納していること	1 学年の学期区分	2 期
履修方法：	所定の授業への出席、学内試験の受験、課題提出、所定の単位取得をもって履修	1 学期の授業期間	15 週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。